

お知らせ



植えてはくれない「けし」
「けし」は、春から夏にかけて色鮮やかで美しい花を咲かせますが、麻薬の原料となるため、「あへん法」「麻薬及び向精神薬取締法」により、栽培や所持等が禁止されている種類があります。

植えてはいけない「けし」の特徴
○茎は太くしつかりしており、草丈は1m以上になる。
○葉や茎などの外観は、キャベツの葉のような白味を帯びた緑色をしている。
○葉、茎、つぼみの表面には、ほとんど毛がない。
○葉は茎を巻き込むようにしている。

※見かけた方は、諏訪保健福祉事務所へご連絡ください。

諏訪保健福祉事務所
保健福祉課健康づくり係
☎53・60000
☎79・70992(直通)



HIV(エイズ)検査
6月1日～7日は「エイズ予防ウィーク in NAGANO」です。諏訪保健所では、匿

名・無料で実施しているHIV検査(エイズ検査)の実施日及び時間を拡大します。検査を希望する方は、前日までに電話にてご予約ください。

検査項目 ● HIV、梅毒、クラミジア
定例検査日時 ●
毎週水曜日
午前9時～午前11時
第2水曜日
午後4時～午後7時

拡大検査日時 ● 6月3日(日)
午後4時～午後7時

場所 ● 諏訪保健所(諏訪合同庁舎2階)
※HIV検査は血液中の抗体を調べる検査です。不安な接触から3か月経過している必要があります。

諏訪保健福祉事務所
【エイズ専用相談電話】
☎57・56566



就職・職場の悩み
就職活動に関する悩み、働いている方の仕事や職場に関する悩みを受け付けています。

メール相談
ジョブカフェ信州ホームページの専用フォームからご相談ください。
※平成28年度3月末まで毎

秘密厳守
相談無料

相談会
◆日時/6月21日(日)、7月5日(日)
午後1時30分～午後6時
◆場所/老人憩の家(今後移転予定)
◆担当/心配事・結婚相談員

無料法律相談 ☎79-7927
◆日時/7月10日(金) 午後1時～午後5時
◆場所/中央公民館 講義室
◆担当/長野県弁護士会諏訪在住会員 竹村 隆 弁護士
※事前に相談予定者名簿を見て、担当弁護士において利害が反すると判断した場合は、相談をお断りすることがあります。

国民年金出張相談会 ☎23-3661
◆日時/7月1日(水) 午前10時～午後3時
◆場所/富士見町役場
◆担当/岡谷年金事務所職員

税務相談所 ☎予約☎28-6666
◆日時/7月8日(水) 午前10時～正午
◆場所/下諏訪商工会議所会館2階
◆担当/関東信越税理士会諏訪支部の税理士
※事前に電話でお申し込みください。

交通事故巡回相談 ☎予約☎57-2902
◆日時/7月9日(木) 午前10時～午後3時
◆場所/諏訪地方事務所
◆担当/長野県交通事故相談所松本相談所の交通事故相談員

少年バスケットボール教室
○6/20(土) ○6/27(土)
○7/4(土) ○7/11(土)
午後6時

利用者会議
○7/9(日) 午後7時30分
ファミリースポーツデー
○7/11(日)
正午～午後5時

カルチャー
中央公民館 ☎79-7940
午後のティータイム
○6/15(日) 午後2時
フラワーアレンジ教室
○6/16(日)
午後1時30分、午後7時30分

健康太極拳
○6/17(日) ○6/24(日)
○7/1(日) ○7/8(日)

午後1時30分
デジタルカメラ教室
○6/19(金) 午前9時30分
口語短歌入門教室
○6/23(日) ○7/7(日)
午後1時

あひるクラブ③
○6/24(日) 午前10時
クラフトバッグ
②6/25(日) ③7/2(日)
午後1時30分、午後7時

山歩き講座②
○6/26(金)
はらむら塾④
○7/9(日) 午後1時30分
八ヶ岳美術館
ハーブのめぐみを楽しむ
○7/14(日) 午後1時30分

午後1時30分
健康太極拳
○6/17(日) ○6/24(日)
○7/1(日) ○7/8(日)

おらが村の足跡 3 ～把手の付いた土器～

教育課文化財係 79・7930(直通)

原村で発掘調査が本格化したのは、昭和50年頃の中央自動車道開通に伴う調査からです。この調査では国史跡の阿久遺跡や大石遺跡・居沢尾根遺跡等が調査されました。この調査によって出土した遺物の一部は、長野県立歴史館に貸し出し展示しています。今回は居沢尾根遺跡からたくさん出土した土



器の一部をご紹介します。居沢尾根遺跡は阿久遺跡の南側、現在のより線中央道原PA付近に位置します。約5000年前の縄文時代中期の家の跡や食糧を貯蔵する穴、お墓と思われる穴などが見つかっている遺跡です。発見したたくさんのお家のうち、一軒の家からは破片を含めると1200点以上の土器が見つかり、形になる土器は40点近くにも及びます。今回この土器のうち1点を紹介します。縄文時代中期の中頃の土器で、立体的に装飾された

4個の大きな把手が付き、胴部が大きくくびれ、そろばん玉のような形をした底部が特徴的な土器です。この時期の土器は立体的な装飾がなされ、縄文土器の中でも最も装飾に凝った時期と言えます。土器は煮炊きする器ですが、この土器は容量も少なく、煮炊きの際に把手が邪魔の様に思えます。使い易さよりも形や文様を優先した縄文人の土器へのこだわりが伺えます。

現在、役場1階の村民ホールに同じ時期の土器を合わせて展示してありますので、役場にお越しの際は、ぜひご覧ください。
教育課文化財係 佐々木潤

COLUMN 村長きよしの 高原の風 Vol. 46



4月25日、ネパールでマグニチュード7.8の大地震があり、死者多数、建物や住宅が崩れる等、壊滅的な大災害になりました。

震源は首都カトマンズの北西80kmのゴルカ県とのことですが、当初死者は2千5百人以上と報じられましたが、うなぎ上りに増え、5月8日現在8千人とも1万人を超え、とも報じられています。死者がこの数ですから、負傷者は数えることも出来ない夥しさであって、国際救援の医療チームに頼っていますが、まさに阿鼻叫喚の修羅場と言った状態でしょう。突如として家族肉親を失い、深い悲しみと途方に暮れる人々多数。もと

もと衛生状態もそう良くない国ですから、困窮も目に見えて、支援の手が重要であります。古い煉瓦造りの建物は耐震性も弱く、殆ど崩れ落ちて瓦礫の山を築いています。この国は過放牧により森林は育ちにくく、従って土を焼いた煉瓦が

建材として多く使われます。壁厚を厚くして強度を出しますが、古い物はどうしても弱くなっています。首都カトマンズにはユネスコ世界遺産の様な古い寺院が数多く存在しますが、皆崩れたそうで惜しい事です。カトマンズの名前の由来となったカスタマンダップ(一本の木から出来た寺の意)も崩れたそうです。震源地のゴルカはネパール中部で、私もヒマラヤ登山の際通ったことがありますが、大変な田舎です。被害の様子は解りませんが、ゴルカ王朝の出身地で、英国傭兵として勇猛果敢で名高く、第2次世界大戦中は日本軍とも戦火を交えたというゴルカ兵の故郷で、グルン族と呼ばれる人々の郷です。

今回の地震では、ヒマラヤ登山の人々も被害に遭い、世界最高峰エヴェレストでも雪崩が発生し、各国登山家が巻き込まれ、日本人2人も犠牲になりました。お世話になったネパール、登山が好きでヒマラヤ通いをした私、あの陽気で気のいい人達、負けずに早く立ち上げ、私の所属する山岳団体でも応援の義捐金を集めて送ることにしました。一日も早い復興を願わずにはいられません。